学校番号	301

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	(学)美術演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年間を通して『 知る、味わう、深める 』をテーマに制作します。
３年生では“ 深める ”に重点を置き、幅広い表現を学びます。
３年間の制作経験をいかし、個性豊かな表現を追求してください。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することをめざす。
【知識及び技能 】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等 】造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等 】
主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	・主題を生成し個性を生かして発想し構想を練っている。 ・自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	題材	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	組み合わせデザイン	・5cm×5cm のマスに『組み合わせデザイン』の元になる図案を制作する。 ・図案を並べかえると全く違った模様が2パターンできるよう配置し、アクリル絵の具を用いて着彩する。 ・作品展示	a:課題の意図を理解しながらアイデアスケッチを元に制作している。はみ出しや色ムラのない着彩を実現している。 b:見た目のインパクトを考えながら表現の構想を練っている。 c:主体的に工夫し自分なりの表現活動に取り組んでいる。	授業観察 アイデアスケッチ 作品	授業観察 作品	授業観察 制作レポート
2学期	名画を知ろう	1・2年次の教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学ぶ。	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての自分なりの考えをまとめている。 c:作家の感じ方や制作活動への思いを主体的に感じ取り、感じたことをまとめている。	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート
	あかりのデザイン	陶芸粘土を使って、卓上式のランプシェードを制作する。	a: 陶芸粘土の特性や、乾燥・釜入れまでの工程を理解し、計画的に制作している。 b: 光の出方や野外展示する際の展示効果を考えながら、表現の構想を練っている。 c: 主体的に工夫し自分なりの表現活動に取り組んでいる。	授業観察 ワークシート	授業観察 作品	授業観察 制作レポート
3学期	スクールグッズを描こう	高校3年間で1番お世話になったスクールグッズを、A4ケント紙に鉛筆で描く。	a: 鉛筆で表現できる、多彩なグレーの領域を理解し、制作している。 b: 余白とモチーフをバランスよく配置している光の方向を意識しながら、存在感、重量感を感じるような描写が実現できている。 c: 主体的に工夫し自分なりの	授業観察 練習用紙	授業観察 作品	授業観察 制作レポート

			表現活動に取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度